

第8回 SPERC イオン液体講演会

この度、岩手大学理学部附属ソフトパス理学部研究センター(SPERC)では、TDK 株式会社の西島主明先生をお迎えして講演会を開催いたします。イオン伝導および固体イオニクスを専門とする西島先生は、長年にわたりリチウムイオン電池に関する基礎研究から海外での量産立ち上げに従事されて、目覚ましい研究成果を上げてこられました。

今回の講演では、西島先生のこれまでの研究開発の一端をご紹介いただくとともに、ここ数年の海外、特に欧州におけるリチウムイオン電池業界の動向について講演をいただく予定です。エネルギー科学をはじめとする関連分野に関心をお持ちの教職員、学部学生、大学院生のみならず、本学関係者以外の方々にも広くご参加いただけます。ぜひお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

なお、本講演会は、第 48 回 INS エネルギー変換技術研究会講演会および第 12 回岩手大学電気化学セミナーとの共催事業となります。

記

主 催：岩手大学理学部附属ソフトパス理学部研究センター(SPERC)
水素利用技術研究グループ イオン液体サブグループ

共 催：INS エネルギー変換技術研究会

協 賛：日本化学会東北支部(予定)、電気化学会東北支部(予定)

日 時：令和 8(2026)年 2 月 18 日(水) 15:00～16:00

場 所：理学部 2 号館(C03) 2 階 22 番講義室(〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4-3-5)

講演者：西島主明 博士(工学)
TDK 株式会社 技術・知財本部 応用製品開発センター
(会社 HP: <https://www.tdk.com/ja/index.html>)



演題：「欧州を中心とするリチウムイオン電池の事業動向」

リチウムイオン電池は 1990 年に日本のソニーが携帯機器向けに世界で初めて商品化した。それから 30 年が経過し、リチウムイオン電池の高性能化と低コスト化が進んだ結果、自動車を駆動する主電源として注目されている。2010 年代から日本では車載用リチウムイオン電池の開発が始まっていたが、2020 以降に全世界で自動車の電動化への動きが進み“電池バブル”が発生した。海外でのリチウムイオン電池の大量生産への動きが一気に高まり、数十社以上の会社が設立されたが、2025 年に電池バブルははじけてしまった。演者は 2020 年から北欧の電池メーカーに勤務し、電池バブルの真っただ中で欧州の電池業界の動きを目の当たりにしてきた。本講演では、欧州の現地で見た栄枯盛衰に関して解説を行う。

Key words: リチウムイオン電池、固体イオニクス、イオン伝導、酸化物型全固体電池、欧州電池業界動向

参 加 費：無 料(教職員、学生、一般)

連絡先：宇井幸一（理学部 化学コース、イオン液体サブグループリーダー）

TEL: 019-621-6340, Email: kui@iwate-u.ac.jp